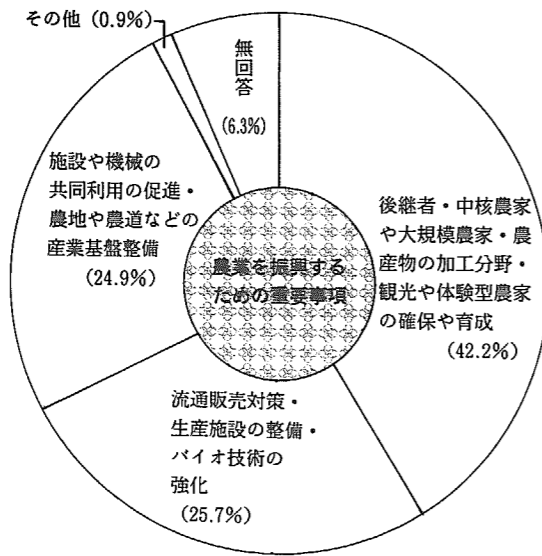
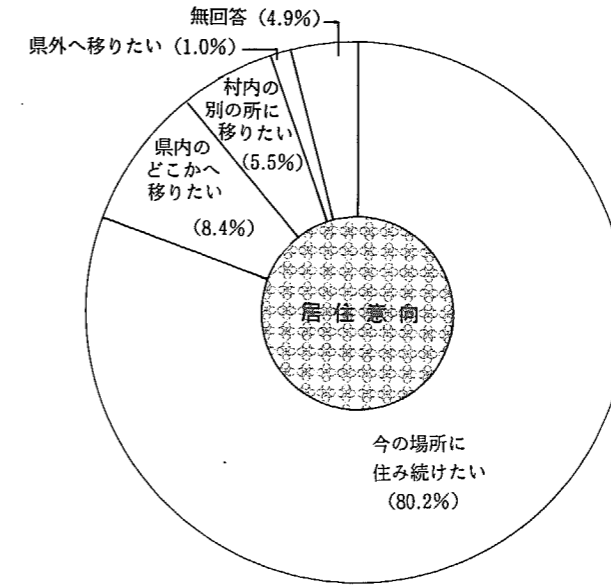


# 横越村に今後も住み続けたい ～ 町制施行に関する住民

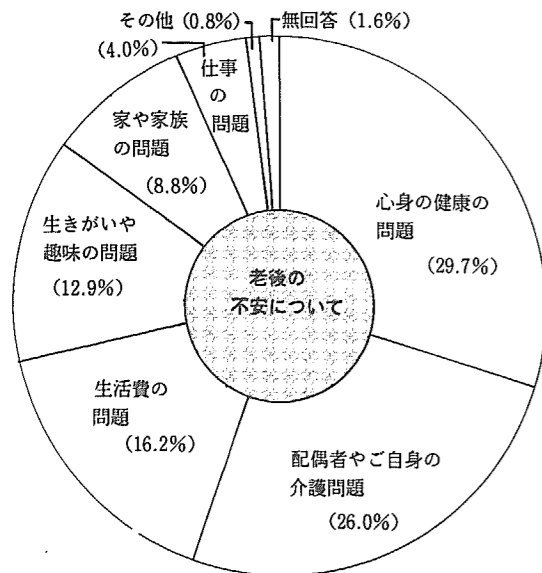
# とする回答 全体の80.2%を占める 意識調査結果（その4）～



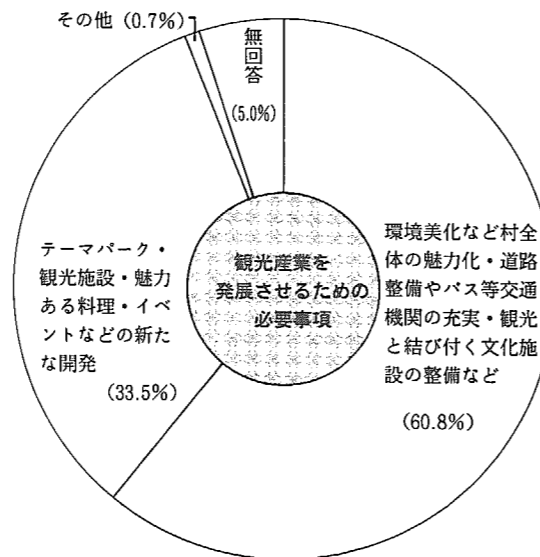
農業を振興するための重要施策としては、「後継者の確保・育成」が最も多くを占め、次いで、「施設・機械の共同利用の促進」「流通・販売対策の強化」「農地や農道など産業基盤の整備」の順でした。



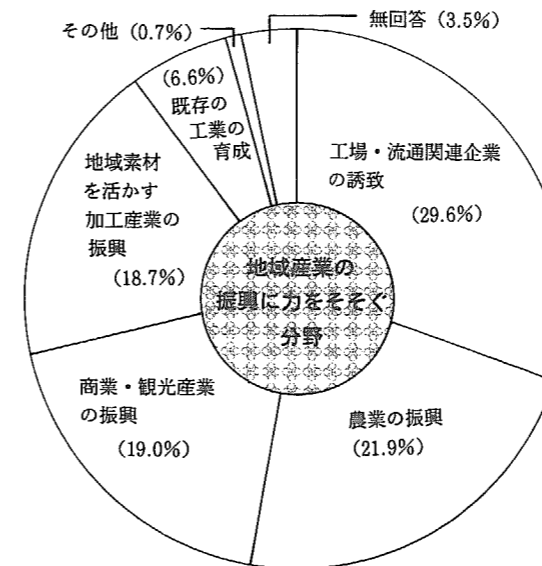
横越村に今後も住み続けたいかという問に対しては、全体の80.2%が「今の場所に住み続けたい」と回答しており、現在の場所での居住意向の高さがうかがえます。逆に、移りたいとする回答は、「県内のどこか」が8.4%、「村内の別の所」が5.5%、「県外に」が1.0%の順でした。



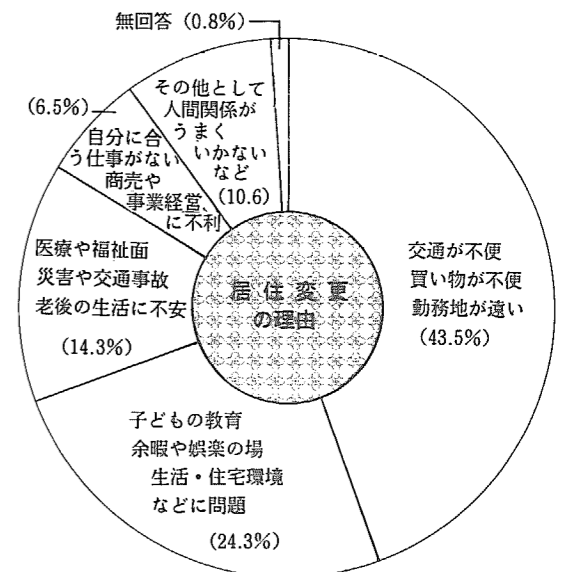
老後の生活（または現在の老後生活）の不安については、「心身の健康の問題」(29.7%)、「配偶者や自身の介護問題」(26.0%)が1、2位を占め、健康や介護が最も大きな不安材料となっている。以下、「生活費の問題」(16.2%)、「生きがいや趣味の問題」(12.9%)、「家や家族の問題」(8.8%)、そして「仕事の問題」(4.0%)と続いている。



観光産業の発展にむけて取り組むべき施策については、街なみ景観の整備や緑化・花いっぱいなどの「環境美化など村全体の魅力化」が最も多くを占め、次いで「村内外の道路整備やバスなど交通機関の充実」「大規模なテーマパーク等新たな開発」「観光と結びつく文化施設の整備」などの順でした。



横越村の地域産業の振興については、「農業の振興」「地域素材を活かした加工産業の振興」「工場など新たな企業の誘致」への回答が集中しています。次いで、「流通関連企業の誘致」「商業の振興」「観光産業の振興」「既存工業（製造業）の育成」の順でした。



定住意向のなかで「移りたい」と回答した人にその主な理由をたずねたところ、「交通が不便だから」「買い物が不便だから」に回答が集中しました。次いで多かったのは、「子どもの教育上の問題」「余暇や娯楽の場が少ない」「医療や福祉面が不安」「生活・住宅環境が悪い」などでした。